

特定建設作業実施届出書

神戸市長宛

年 月 日

届出者
住所 電話番号 () -

氏名 (名称及び代表者氏名)

代表者印

特定建設作業を実施するので、

- { 1 騒音規制法第 14 条第 1 項(第 2 項)
2 振動規制法第 14 条第 1 項(第 2 項)
3 環境の保全と創造に関する条例第 59 条第 1 項(第 2 項) } の規定により、

次のとおり届け出ます。

建設工事の名称					
建設工事の目的に係る施設又は工作物の種類					
建物の解体・改修工事の有無 (該当するものに○印を) ⇒ 解体有・改修有・無 解体有・改修有の場合は右欄にも記入を。	解体・改修する部分の延べ床面積	m ²	石綿 (ア ス ベ ス ト)	飛散性アスベストの使用 (吹付け、保温材、断熱材、耐火被覆材、塗材)	有・無
	解体・改修する建築物の建築年	T・S・H・R 年		非飛散性アスベストの使用 (スレート、石膏ボード、Pタイル、けい酸カルシウム板など)	有・無
	解体・改修する建築物の構造				
特定建設作業の種類					
特定建設作業に使用される機械の名称、型式及び仕様		別紙(裏面)のとおり			
特定建設作業の場所		神戸市 区 町・通			
特定建設作業の実施の期間		自 年 月 日 日間 至 年 月 日			
特定建設作業の開始及び終了の時刻		作業開始	作業終了	作業日	実働時間
		自 時	至 時	日曜日を除く	時間
騒音・振動の防止の方法		別紙(裏面)のとおり			
発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名		電話番号			
届出者の現場責任者の氏名及び連絡先		電話番号			
下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名		電話番号			
下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡先		電話番号			
敷地等の面積 (敷地面積、解体整地面積、道路築造面積、造成面積、等)		<input type="checkbox"/> 敷地等の面積が 3,000m ² 以上 ※ 該当する場合はチェックを入れる。 ※ 3,000m ² 以上の土地の形質変更は土壌汚染対策法第 4 条届出が必要です。			

(2018.5 改訂)

特定建設作業の種類、使用される機械の名称等及び騒音・振動の防止方法

法令(*1)	特定建設作業の種類(*2)	機械の名称	型式	能力	数	使用時間
1・2・3						時～ 時
1・2・3						時～ 時
1・2・3						時～ 時
1・2・3						時～ 時
1・2・3						時～ 時
1・2・3						時～ 時
1・2・3						時～ 時
1・2・3						時～ 時

騒音又は振動の防止の方法(*3)

(付近住民への工事説明の状況、低騒音・低振動型工法の採用や防音シートの設置の予定等について記載すること。)

(該当するものを○で囲んでください)

1. 付近住民への工事説明を着工前に十分行い、作業時間、作業期間について住民の要望を考慮する。
2. 建物解体時には建物周囲を防音シートで養生する。
3. 低騒音型機械を使用する。
4. 作業機械や運搬車両を空ぶかししない。
5. 解体時には、粉じん飛散防止のために散水を行う。
6. その他 ()

備考

(*1)法令欄には、特定建設作業の種類ごとに、1 騒音規制法、2 振動規制法、3 環境の保全と創造に関する条例のうち該当するものの数字を○で囲むこと。

(*2)特定建設作業の種類には、騒音規制法施行令別表第 2、振動規制法施行令別表第 2、環境の保全と創造に関する条例施行規則別表第 9・10 に掲げる作業の種類を記載すること。

(*3)具体的内容については、必要に応じて図面等の資料を添付すること。

(4)届出書は 2 部(正・控)提出すること。

(5)届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむをえないものを除き、日本工業規格 A4 とすること。

(6)氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。

添付書類

① 付近の見取り図

現場周辺の住宅、病院等の立地状況がわかること。

② 工事工程表

特定建設作業の種類ごとに実施期間を明示すること。

③ 現場図面

敷地内構造物等と敷地境界の関係がわかること。

防音シート・万能板・散水栓等の設置予定位置を明示すること。